

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月4日実施)	総合評価(3月30日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の定着、課題発見解決力の育成を目指した教育課程編成及び授業改善に取り組む。</p> <p>②学校行事や生徒会活動における生徒の主体的な取組みを推進する。</p>	<p>①様々な学習の機会を提供し、学習習慣の定着を図る。組織的な授業改善により、授業の質の向上を図る。</p> <p>②体育祭・文化祭・合唱祭及び生徒会活動のさらなる活性化をとおして主体性や社会性、豊かな人間性の涵養を図る。</p>	<p>①土曜日や長期休業中の講習を各教科で充実させ生徒が参加しやすい環境作りを行う。各教科の授業改善に向けた取組みを共有し、学校全体として組織的に取り組む。</p> <p>②生徒が、実行委員会等の組織における役割を意識して取り組むよう指導し、主体的な取組をとおしてリーダーシップを育成を図る。</p>	<p>①実力アップ講習の開講講座数や受講生徒数が前年度を上回ることができたか。</p> <p>②学校評価アンケートの学校行事・部活動等において、「主体的に取り組むことができたか」等の項目について、肯定評価80%以上を達成できたか。</p>	<p>①前期土曜講習は前年10講座115人に対して16講座152人に増加した。夏季講習は前年52講座968人に対して40講座601人に留まった。</p> <p>②学校行事等を通じて、生徒の主体的な取組を支援し、リーダーシップを育んだ。学校評価アンケートの該当項目について、肯定評価86%を達成した。</p>	<p>①仮設校舎への移転作業等の影響もあってか夏季講習の講座数や受講生徒数が減った。一方、1年生を中心に土曜講習の受講生徒数が増加した。引き続き講習の充実を図る。</p> <p>②行事のさらなる活性化を図り、実行委員会等の生徒主体の運営をこれまで以上に強化し、リーダーシップや豊かな人間性、社会性の向上を期した人材育成を図る。</p>	<p>①授業改善について、各教員の意識の統一を目指し、生徒の学力が確実に身につくことを保証することが各教科の最終目標である。教員研修を充実させるべきである。</p>	<p>①生徒が講習に参加しやすい環境づくりは着実に進んでいる。その一方で講習の担当者に偏りが生じている。</p> <p>②生徒はリーダーや各担当など組織における役割を意識して主体的に取り組むことができた。学習面への支障のないようより配慮していく。</p>	<p>①講習や授業改善の取組みが特定の教科や個人に頼ることなく、より組織的な取組みとなるよう工夫する。</p> <p>②学習との両立を意識しながら、生徒が主体的に行事に取り組めるよう、発表内容の精選を進めるよう指導する。</p>
2 生徒指導・支援	<p>①部活動の活性化を通し、責任感や連帯感の涵養を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図り、心身の成長を支援する。</p>	<p>①部活動のさらなる活性化をとおして主体性や社会性、豊かな人間性の涵養を図る。</p> <p>②生徒への支援体制について情報を共有を密にし、さまざまな機関との連携や活用を図るなど、さらに組織的な対応を図る。</p>	<p>①部活動指導において、活動目標を明確化し、部員一人ひとりが組織の一員として責任ある行動を取り活動の目標が達成できるよう支援する。</p> <p>②教育相談に関する校内ガイドラインなどを策定し、組織的に対応できるようにする。また、スクールカウンセラー及び外部の相談機関、専門医療機関、支援教育地域連絡協議会等との積極的な連携や活用を図る。</p>	<p>①学校評価アンケートの部活動取組状況や満足度等について肯定評価80%を達成できたか。</p> <p>②学校評価アンケートの生徒指導等に関する項目について、肯定評価80%以上を達成できたか。ケース会議等の実施状況の充実度はどうか。</p>	<p>①部活動における生徒の主体的な活動を支援し、学校評価アンケートの該当項目において、肯定評価80%を達成した。</p> <p>②3年生による「高校生活の振り返り」アンケートによると教育相談に関して、プラス評価が学習進路面に関する相談では66%、心の悩みについての相談では52%だった。ケース会議については外部機関と連携しながら必要に応じて実施した。</p>	<p>①学校行事や学習との両立を図り、計画的な活動ができるよう、学校全体で取り組む。</p> <p>②「心の悩み」を抱える生徒の相談に関しては丁寧な個別対応を行っているが、潜在的なニーズに対応するため周知をさらに進める。相談に対しては組織的に対応し、医療関係や教育相談センター等の外部機関との連携もさらに密に行うなど、さまざまな生徒の相談に応えられるようにする。</p>	<p>①部活動加入率が高い一方、週休2日の動きが社会で進んでいる。全員を規則で縛るのではなく、自分のペースで文武両道ができるようにすることが望ましいのではないかと。</p> <p>②教育相談については、一定の成果をあげることができたが、今後、さらに個別のニーズに対応したきめ細かい支援ができるように、より組織的な支援体制を組むことが課題である。また、こうした支援活動に対する生徒や保護者への周知を深めることも必要である。</p>	<p>①部活動を通し、責任感や連帯感を身に付けさせる一方、生徒の健康や学習時間に配慮し、バランスのとれた生活を送らせるため、活動計画等工夫する必要がある。</p> <p>②教育相談に関しては、必要があれば外部機関とも積極的に連携し、チームとして生徒への支援を図ることのできるシステムを構築する。また、各ホームルーム、全校集会や保護者会等さまざまな機会を通じて、支援活動への周知を図っていく。</p>	<p>①部活動の目標を明確にし、年間活動計画に沿って活動するとともに、休養日と練習時間の設定を心がける。</p> <p>②教育相談に関して、教員間の情報共有をさらに密にし、必要があれば外部機関とも積極的に連携し、チームとして生徒への支援を図ることのできるシステムを構築する。また、各ホームルーム、全校集会や保護者会等さまざまな機会を通じて、支援活動への周知を図っていく。</p>
3 進路指導・支援	高い進路希望実	①生徒の高い進路	①3年間を見通した「進路	①面談(三者、二	①面談(面談週間、夏	①センター試験の自	①生徒により高い	①生徒の第一希望の進	①目標を今回の結果

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月4日実施)	総合評価(3月30日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		現に向け、生徒がグローバルな視点を持って将来を設計出来るよう、自らのキャリア発達を意識できる、3年間を見通した進路指導の充実を図る。	希望の実現を目指すため、進路指導の充実を図る。 ②グローバル教育の充実及び拡充、知的好奇心(興味関心)に対応できる教育活動の展開を図る。	指導プログラム」に確実に取り組むとともに、本校の教育改革に対応した新たな教育活動全般を見通した「新・進路指導プログラム」を策定する。 ②外部教育機関等を活用したキャリアアップ講座、国際理解教育、科学と文化(総合的な学習の時間)、インターンシップ等をとおして、グローバルな視点を持ち、社会貢献への意欲を高め、具体的な将来像を描けるよう支援する。	者)や進路説明会等が有効であったか。センター試験結果、難関大合格状況、現役進学率(国公立30%、早慶上理も含み50%)の達成状況はどうか。「新・進路指導プログラム」は策定できたか。 ②各教育活動の実施回数と満足度はどうか。	季・冬季休業),説明会(3年5回,2年11・3月,1年3月,保護者4・7月)は計画通り実施した。センター試験自己採点平均点は前年比2.6%ダウン、国公立現役進学は25%、早慶上理を含み40%にとどまった。進路指導プログラムは新入試を踏まえ改訂中である。 ②キャリアアップ講座の開講数は昨年度より下回った。生徒の満足度は59%であった。	己採点結果、進路実績が目標に届かなかったことを踏まえての分析を勧め、今後の指導に活かす。 平成32年度の新しい大学入試の動向を踏まえ、生徒、保護者に有効な情報発信を踏まえての進路指導プログラムの策定を進める。 ②仮設校舎への移転作業等のためキャリアアップ講座数が減った。一つひとつの講座の目的を明確にするなど、引き続き講座の充実を図る。	指導目標を持たせ、教員集団全体で(担任、教科担任、部活動顧問など)支援していくべきである。	路実現を目指す指導を進めてきたが、今期の結果は学校として目標に届いていない。 ②キャリアアップ講座に参加した生徒の満足度は高いが、生徒のニーズに十分な対応ができたとは言えない。	に合せることなく、高い進学実績実現のため教科と連携のほか、学校全体での意識改革を進める。 ②生徒のニーズにこたえられるような、新たな講座の開拓を行う。
4	地域等との協働	保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、本校教育力の向上を図る。	保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、本校教育力の向上を図る。	①本校の教育活動について、保護者、地域など、より広く情報発信に努める。 ②行政機関、大学研究機関、地域、民間等と連携した教育活動の充実を図る。	①本校の情報発信に対するアンケート結果はどうか。 ②外部機関や講師の活用状況、保護者・生徒の満足度等の結果はどうか。	①保護者のアンケート結果、満足度は84%で、本校の情報発信に満足している様子が見える。 ②保護者の満足度は68%、生徒は54%で生徒のほうがやや低い結果となった。	①本校の教育活動についての課題を明確にし、情報発信を強化していく。 ②リサーチなどのアンケートによる生徒や保護者にとって魅力ある講師を確保するとともに、事前学習の充実を図り、教育活動の充実を図りたい。	①栄区との様々な連携強化に感謝申し上げる。 ②インバウンドフォーラムも積極的に取り組んでいただきありがたい。栄区から情報提供の機会が欲しい。	①学校の教育活動について、広く情報発信できているが、さらに強化すべきである。 ②外部機関の活用については、生徒の満足度に課題がある。	①ホームページの改善などに取り組む、学校の教育活動について、より広く情報発信に努める。 ②栄区役所を中心に地域と協働し、本校の教育活動のより一層の充実を図る。
5	学校管理 学校運営	①教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化づくりをとおり、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。 ②円滑で効率的な学校運営に取り組むとともに、安全安心な教育環境の整備を推進する。	①教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化の定着を図り、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。 ②円滑で効率的な学校運営に取り組むとともに、安全安心な教育環境の整備をさらに推進する。	①教育環境の変化や新たな課題等を共有するための会議等の活用や校内研修等を開催し、職員の組織的な教育活動の推進に資する。 ②ICTの効果的な活用などにより、より一層の情報共有化や校務の効率化を図る。事故防止の計画的な実施、施設・設備の安全確認、防災マニュアルの見直し、防災用品の補充・整備等を継続的に行う。	①会議等の活用状況や校内研修会等の実施回数と充実度はどうか。 ②円滑な改善の視点を持って校務の効率化を図れたか。事故防止会議の実施回数等はどうか。防災対策やマニュアルのさらなる見直し、防災用品の補充・整備等の状況はどうか。	①職員会議・企画会議・グループ会議・教科会・学年会・不祥事防止研修会・感染症研修会・職員DIG研修会等は年間行事に組み込み計画的に実施され、会議・研修等を通じて職員の使命感及び意識が高揚を図ることが有効に活用された。 ②校務の円滑な改善の視点を持って情報の共有化を図った。定期的に事故防止会議を13回実施した。	①多様な会議・研修等をバランスよく効果的に年間行事に組み込むために、さらに計画立案段階での綿密な調整が必要である。 ②耐震工事及び仮設校舎使用の中で、安全安心な教育環境の整備を推進する。	①耐震工事で多くの人が出入りする。防犯、安全の観点を持って、適切な対応をお願いする。	①月1回工事関係者との定例会において周知徹底をはかっており、通用門には警備員を配置している。 ②各部署との連携を深め、円滑な公務運営につなげたい。	①8月末の教室棟移転に向けて、各部署と連絡を密にとる。 ②校務の効率化に向けては、行事などの予定の調整を早めに行う。